



©東京ハイジ/二宮可

東京大学果樹園跡地の活用方法の検討 第2回検討会 実施報告

東京大学果樹園跡地の活用方法の検討において、第2回検討会を行いました。検討会には、事前にお申し込みいただいた26名と当日参加の9名、計35名の方にご参加いただき、第1回検討会の内容を元に作成した事業計画（案）についてご意見などをいただきました。

また、第1回検討会同様、NPO法人西湘をあそぶ会代表の原大祐氏にファシリテーターとしてご参加いただきました。

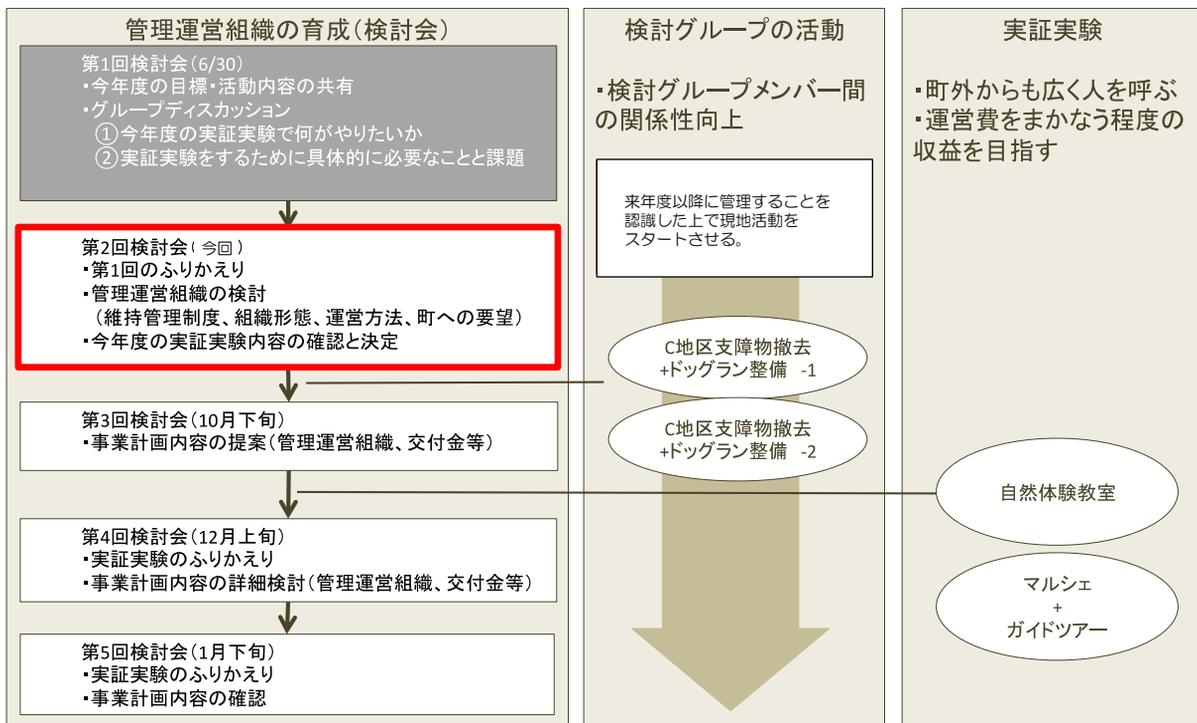
■第2回検討会概要

- ・日 時：平成30年8月26日（日）14：30～16：30
- ・場 所：生涯学習センター ラディアン ミーティングルーム2
- ・参加者：35名
- ・内 容：
 - 1) 前回WSのふりかえり
 - * 第1回検討会グループディスカッションでいただいた意見をまとめ、ふりかえりを行いました
 - 2) 前提条件の確認
 - * 二宮町としての東京大学果樹園跡地の中・長期的、短期的方針および現在の維持管理状況について確認を行いました
 - 3) 事業計画（案）
 - * 東京大学果樹園跡地を「子どもと共に大人も楽しみ学べる場」とするために、今年度検討しなければいけない事項をみなさんと共有しました
 - * 来年度からの東京大学果樹園跡地を管理していくために、運営体制・組織・事業資金の調達方法・維持管理区分・利用ルールについて（案）を提示しました
 - 4) 管理を引き継ぐために町への要望
 - * 第1回検討会の意見を踏まえ、最低限整備が必要な内容（インフラ・外周柵など）を町への要望としてまとめました
 - 5) 今後のスケジュール（案）
 - * 実証実験のスケジュール（案）を提示し、C地区のドッグラン整備を主軸に、他のイベントを合わせて実証実験を行っていくことを共有しました



©東京ハイジ/二宮可

H30 実施フロー（案）



主な意見



©東京ハイジ/二喜町

■運営体制・組織について

- ・ 管理運営組織には、みんなの意見をくみ取ってくれる人がリーダーとして携わってほしい。
- ・ 協議会や管理運営組織はどの程度の活動頻度となるのか。コアとなる人の当てがあるのか。また、どういう人になるのか。管理運営組織は、株式会社などの介入もなく、素人の住民だけでは運営に無理があると思う。
- ・ 協議会と管理運営組織のどの部分を住民が担っていくのか。管理をしていくには、管理費を賄える事業をする必要がある。

■建築について

- ・ 東京大学果樹園跡地の建物は、内田祥三氏が監修したと推定される建物で価値のある建物だと思う。
- ・ 現況の竹林は図面上よりももっと拡大していて、建物に影響が出ている。

■実証実験について

- ・ 建築のガイドツアーを実証実験で行う上で、準備費の負担などは発生するのか。ガイドツアーでお金を徴収することを想定しているのであれば、お金を取る以上しっかり準備をしなければいけない。
- ・ 実証実験として、野球体験教室なども入れてほしい。

■今後の利用について

- ・ マルシェなどのイベントで集客や収益が上がるようになった場合、イベントの回数が増え、野球でグラウンドが使えなくなるのは困る。
- ・ C地区の果樹園の剪定をするのであれば、枝が邪魔だから切るのではなく、しっかり造園のプロに聞いて行った方がいい。
- ・ 大磯市のブースの出店料や数を参考に、もっと比較検討してもらいたい。
- ・ 建物の立ち入り禁止をしっかりと明示してもらいたい。
- ・ グラウンドを貸し出す場合、利用料を徴収するというが、お金を出せない団体もいる。徴収する金額もしっかり決めてもらいたい。

■東京大学果樹園跡地の資源について

- ・ 東京大学果樹園跡地の資源やその場所の歴史が情報共有されていない。
- ・ 共有されていない状況で事業が進んでいくと、貴重な資源がいつの間にかなくなっていくのではと不安に思っている。木も知らないうちに切られているときもある。
- ・ 敷地内には珍しい植物もたくさんある。それらを調べて記録に残していく必要がある。

■維持管理について

- ・ 町は約100万円で草刈りを委託しているが、草刈りは年2回程度で、100万円ではその程度の管理しかできない。
- ・ イーグルスが借りている敷地は8,500m²なので、B,C地区合わせて草刈りの範囲が1.8haというのは、面積が少ないのではないか。

■現況の利用について

- ・ 現在のグラウンドの利用状況は、野球や子ども自然塾で年間計画を立てている。平日は比較的使用が少なく、月1回のパラスポーツ、第1水曜日にグラウンドゴルフで利用している。

■その他

- ・ 「子どもと共に大人も楽しみ学べる場」というコンセプトがあるが、子ども目線を大切にもらいたい。子ども自然塾は、幼児～小学生を対象に子どもがやりたいことを自由にさせることを大事にしている。収益どころよりもそういうものを大切にしていってほしい。

第2回検討会でもたくさんのご意見をありがとうございました。第3回検討会では、本検討会でのご意見を基に、より具体的な事業計画の内容を提示し、皆さんと議論していきます。よろしくお願いいたします。



©東京ハイジ/二喜町



検討会の様子